

技術評価報告書

申 込 者： 東京鉄鋼株式会社 代表取締役会長 吉原 每文
栃木県小山市横倉新田 520 番地

技術名称： パワーリング 685、パワーリング 785 設計施工指針 (2026 年)

当法人「建築構造技術審議委員会」において慎重審議の結果、2026 年 9 月 28 日付けの技術評価書 (SABTEC 評価 15-03R4) の通り、一般社団法人建築構造技術支援機構「建築構造技術検証要綱」で定めた技術基準と照らし合わせ、本技術は妥当なものであると判断されたことを報告する。

2026 年 9 月 28 日

一 般 社 団 法 人
建 築 構 造 技 術 支 援 機 構
代 表 理 事 益 尾 潔

建築構造技術審議委員会

委員長	窪田 敏行	近畿大学	名誉教授
副委員長	田 才 晃	横浜国立大学	名誉教授
委 員	磯 雅人	福井大学大学院工学研究科	教授
〃	岸本一蔵	近畿大学建築学部建築学科	教授
〃	田中 剛	大手前大学建築&芸術学部	教授
〃	都祭弘幸	福山大学工学部建築学科	教授
〃	三谷 勲	神戸大学	名誉教授

パワーリング 685、パワーリング 785 設計施工指針 専門部会

主 査	岸本一蔵	近畿大学建築学部建築学科	教授
委 員	都祭弘幸	福山大学工学部建築学科	教授



技術評価書

申込者： 東京鉄鋼株式会社 代表取締役会長 吉原 每文
栃木県小山市横倉新田 520 番地

技術名称： パワーリング 685、パワーリング 785 設計施工指針 (2026 年)

技術概要： パワーリング 685 とパワーリング 785 は、東京鉄鋼(株)製の大員認定を取得した高強度せん断補強筋用異形棒鋼 SPR685 と SPR785 を用いた 685N/mm² 級と 785N/mm² 級高強度せん断補強筋である。

パワーリング 685 設計施工指針について SABTEC 評価 15-03 (2016 年 1 月 29 日) を取得後、SABTEC 評価 15-03R1 (2017 年 7 月 21 日) は拓南製鐵(株)製 SPR685 を適用範囲に追加し、SABTEC 高強度せん断補強筋設計施工指針 (2016 年) を基に改定した設計施工指針 (2018 年) について SABTEC 評価 15-03R2 (2018 年 11 月 2 日) を取得し、SABTEC 評価 15-03R3 (2023 年 9 月 22 日) は SABTEC 高強度せん断補強筋設計施工指針 (2023 年) に準拠したパワーリング 685 設計指針 (2023 年) について行われている。

また、SABTEC 評価 15-03R4 (2026 年 9 月 28 日) は、パワーリング 785 を用いた柱、梁、基礎梁実験を基に改定したパワーリング 685、パワーリング 785 設計施工指針 (2026 年) について行われている。

本委員会は、一般社団法人建築構造技術支援機構「建築構造技術検証要綱」で定めた技術基準と照らし合わせ、下記の通り、本技術は妥当なものであると判断した。

2026 年 9 月 28 日

一般社団法人
建築構造技術支援機構
建築構造技術審議委員会
委員長 窪田 敏行

記

評価方法： 申込者提出の下記資料によって、技術評価を行った。
パワーリング 685、パワーリング 785 設計施工指針および関連資料
これらの資料には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した技術資料がまとめられている。

評価内容： パワーリング 685 およびパワーリング 785 を用いた鉄筋コンクリート造柱、梁は、長期荷重時に使用上支障を来たすびひ割れおよび短期荷重時に修復性を損なうひび割れを起こさず、パワーリング 685、パワーリング 785 設計施工指針に定められたせん断終局耐力を有すると判断される。

技術評価内容

申込者

東京鉄鋼株式会社
代表取締役会長 吉原 每文
栃木県小山市横倉新田 520 番地

技術名称

パワーリング 685、パワーリング 785 設計施工指針(2026 年)

適用範囲

- (1) 適用部位 鉄筋コンクリート造柱、梁
- (2) 材 料

せん断補強筋 (パワーリング 685) 種 類： SPR685、呼び名：TA10, TA13, TA16
(大臣認定番号 MSRB-0094、平成 27 年 7 月 2 日)
(大臣認定番号 MSRB-0111、平成 29 年 4 月 3 日)
(パワーリング 785) 種 類： SPR785、呼び名：T10, T13, T16
(大臣認定番号 MSRB-9005、平成 14 年 5 月 7 日)
(大臣認定番号 MSRB-0066、平成 23 年 4 月 15 日)
(大臣認定番号 MSRB-0098、平成 28 年 3 月 28 日)
コンクリート 種 類： 普通コンクリート
設計基準強度： 21 N/mm² 以上、60 N/mm² 以下

評価の主な審議事項

- 1) パワーリング 785 を用いた梁、柱の損傷短期許容せん断力の妥当性
- 2) パワーリング 785 を用いた梁、柱のせん断終局耐力、曲げ降伏後の変形性能の妥当性
- 3) パワーリング 785 を用いた基礎梁横補強筋のフック付き重ね継手の妥当性

技術評価に際して行われた実験等の概要

パワーリング 785 を用いた柱(15 体)、梁(13 体)、基礎梁(4 体)実験を基に、柱実験と梁実験では終局耐力と変形性能、梁実験では損傷短期許容せん断力を確認し、基礎梁実験では、基礎梁横補強筋のフック付き重ね継手の妥当性を確認している。

技術評価の経過

2026 年 6 月 26 日開催の第 71 回建築構造技術審議委員会(以下、本委員会と略記)において、申込者提出の技術資料について検討し、詳細検討は、専門部会を設けて行うこととした。専門部会では、本委員会での指摘事項を踏まえて修正された技術資料について、慎重に審議を行い、結果を 2026 年 9 月 28 日開催の第 72 回建築構造技術審議委員会に報告した。

建築構造技術審議委員会では、申込者提出の技術資料について慎重に審議を行い、内容を検討した結果妥当なものであると判断した。

以上